

## 京都府共通脳卒中連携パス(回復期編) 取扱説明書

### 【はじめに】

患者さんの主体的なリハビリ療養を促すため回復期病院において、各時期に応じた目標の統一(※提供するサービスの詳細を規定するものではない)を念頭に京都府統一版脳卒中連携パス(回復期編)を作成しました。この連携パスは、管理病院から転院後に発行して運営します。今後運営しながら不具合な部分を、皆さんの忌憚のないご意見を参考に修正していきます。

### 【患者情報】

- A4版の場合、1ページ目は上部、2ページ目は左上の枠内(A3版は左上)に、患者名・生年月日・診断名・発症日などを記載します。転帰・かかりつけ医・退院日は決定後に記入します。
- リハ期限は、脳血管リハの実施限度期間を記入してください。回復期リハ病棟に入棟すると期限が延長可能になりますが、基本的には発症から180日期限で記入します。

### 【ステージ】

- 全入院期間は13週間(91日間)あります。そしてその期間を第1～第4ステージまで到達目標別に分割しています。

第1ステージ(2W) : 入院安定期  
第2ステージ(3W～8W) : 積極的リハビリ期  
第3ステージ(9W～11W) : 退院調整期  
第4ステージ(12W～13W) : 退院期

- 事前(パス発行時)に各ステージの開始日と終了日を忘れずに記載してください。

#### ●ステージの延長

第2ステージ・第4ステージの後方に空白スペースがあります。この空白は自由に使っていただいてもかまいません。この空白の有効利用法の一つとして期間延長があります。医師・看護・リハなどコメディカルと協議により、第2ステージの延長が必要であれば期間を延長していただければかまいません。

- ・空白スペースに延長期間を手書きで記載、矢印・コメントなど何でも記載していただいてもかまいません。
- ・注意事項として期間延長した場合は、必ず第2ステージの終了日、第3・4ステージの開始・終了日の再記入を必ずしてください。
- ・ステージを延長した場合でもバリエーション分析日は、基本的に第2ステージの8週目最終日、第3・4ステージは修正後の日時で分析を行ってください。

### 【到達目標】

- 到達目標は、左端に1～6項目を縦に並べて記載しています。

(『1. 本人』『2. ADL』『3. 移動』『4. 合併症』『5. 栄養・服薬』『6. 退院支援』)

- 各ステージ(時期)に応じて、それぞれの到達目標を記載しています。

- 左端の( )内は各目標の担当責任職種です。

※0内に職種が複数記載されていますが、各病院にて記載責任者を決めてください。

- 各到達目標の記載方法：

各到達目標を達成したら□のチェックボックスにレ点を記入してください。また達成日の記入も忘れずに記載してください。また□内には、できれば達成できなかった原因・達成予定日など簡潔に記載する。

- 到達目標とステップアップ条件の違い：

到達目標は、最大目標値のことです。つまり未達成でも次のステップに進めます。しかし出来る限り達成に近づける努力が必要です。またステップアップ条件は最低目標値で、必ず達成させないといけない条件です。つまり未達成の場合は次のステップに進めません。

